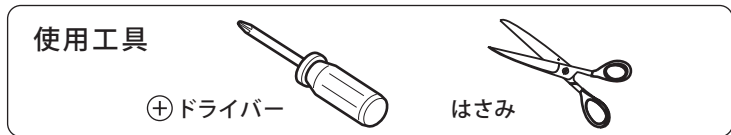


もくじ

確認事項	表紙
1. 製品構成図	1
2. 部材・部品表	2
3. 製品寸法図・納まり参考図	2
4. 組み立て	3
5. 据え付け	6
6. 施工後の確認	8

お願い

施工後、この施工説明書と取扱説明書を必ずお客様にお渡しください

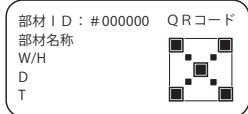


安全に関するご注意

収納ユニット本体の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。

施工時のご注意

- 開梱後、施工前に部材・部品に損傷等がないかどうかご確認ください。組み立ててからの部品の交換は、お受けできない場合があります。
- 付属の部品以外の部品を使用して組み立てないでください。
- 作業は必ず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないでください。
- 設置前に長時間部材を立てかけたりすると、部材が反る恐れがあります。
- 組み立てる前に、棚板以外に貼っている部材シール（下図参照）をはがしてください。（ゆっくりはがすと、きれいにはがれます）



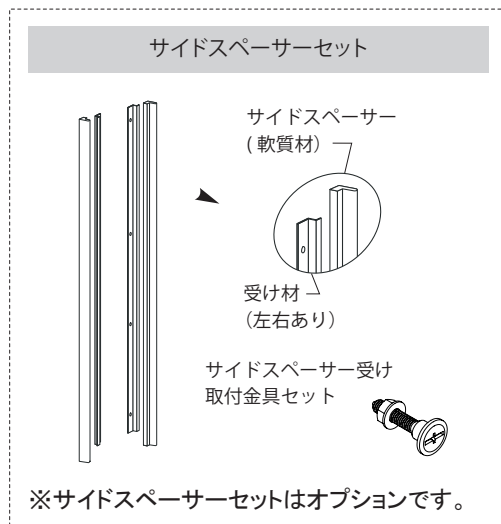
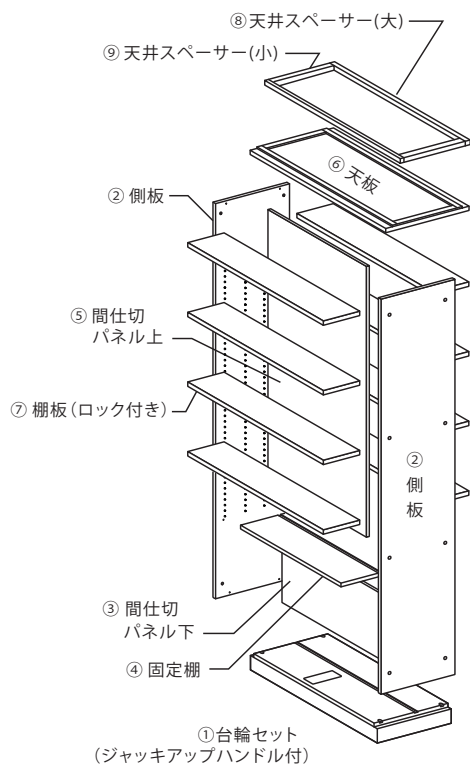
! この絵表示は必ず実行していただく「強制内容」を示します

! **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

1 製品構成図

ダブルシェルフ

◆ MP2-W1005



2 部材・部品表

部材表	MP2-W1005
① 台輪セット	1
② 側板	2
③ 間仕切パネル下	1
④ 固定棚	1
⑤ 間仕切パネル上	1
⑥ 天板	1
⑦ 棚板(ロック付き)	8
⑧ 天井スペーサー(大)	2
⑨ 天井スペーサー(小)	2

部品表	MP2-W1005
1 連結シャフト*	4
2 シャフトB*($\phi 5$ 穴用)	8
3 シャフトA*(側板・可動棚用)	32
4 締付金具カバー*	40
5 本体連結金具(ボルト・ナット)	8組
6 本体連結キャップ	16
7 穴隠しキャップ(10 ϕ)	32

*印: ブロックバック梱包(使用順に区切られ、連続して袋詰めされています)

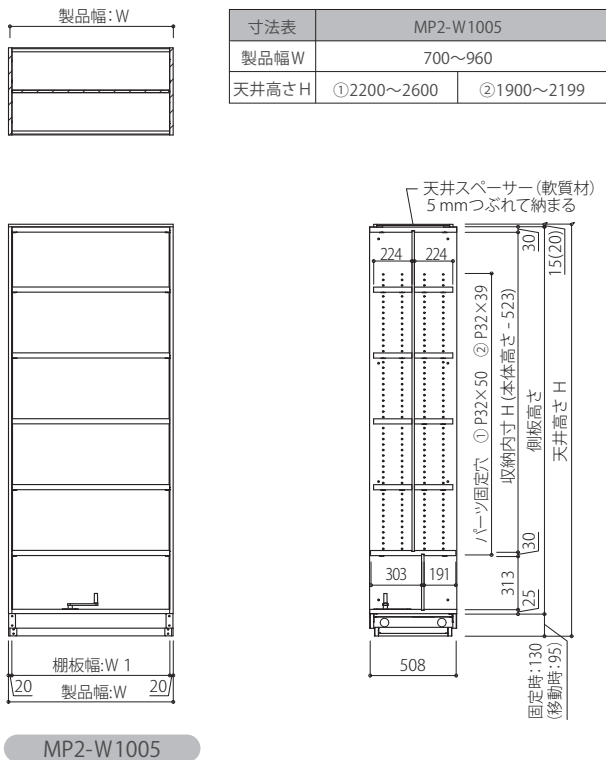
【ご注意】

オプションG(本体連結穴追加)など、ご注文時に選択されたオプションにより一部部材・部品の員数が異なります。同封されている姿図か、ダンボールのラベルに記載されている品番をご確認ください。

内の部品は組み立て時に使用しなくても、可動時にお客様が使用されるものです。組み立て後も大切に保管してください。

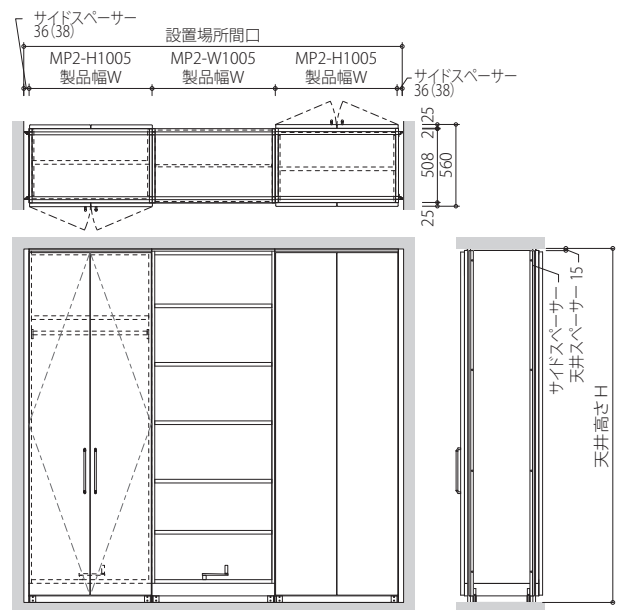
3 製品寸法図・納まり参考図

◆ 製品寸法図



◆ 納まり参考図

完全間仕切
MP2-W1005 × 1台 MP2-H1005 × 2台の場合

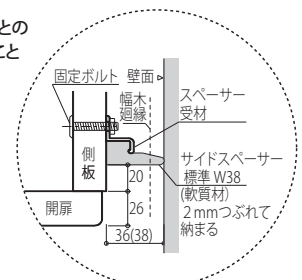


【壁と天井の納まりについて】

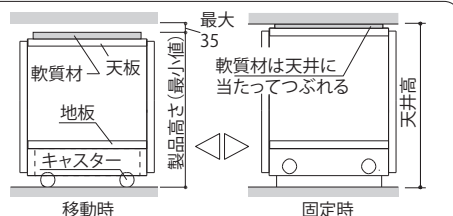
- 壁~壁間に間仕切として設置する場合、サイドスペーサーで左右壁面との隙間を調整します。

- サイドスペーサーは軟質材です。壁と本体とのスキマ調整や巾木等をある程度吸収することができます。(標準片側2mm)

※ サイドスペーサーはオプションです。



可動間仕切収納は製品高さを35mm昇降させることができますが、これは施工時や収納本体の移動時に必要なクリアランスです。天井高さの施工誤差を吸収できる範囲は、注文寸法±3mm程度となります。それ以上の寸法誤差には対応できませんのでご注意ください。



4 組み立て

はじめに 部品の確認

はじめに金物セットの梱包を開けてください。

組み立てに必要な

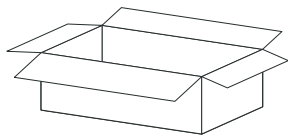
- 部品セット
- 施工説明書

が同梱されています。

※取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

◆ 金物セット梱包

部品セット
施工説明書
取扱説明書



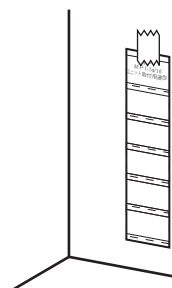
◆ ブロックパック梱包

部品表で部品名横に * 印がついたものは、使用順に区切られ、連続した袋に詰められています（これをブロックパックといいます）。

組み立ての際、ブロックパックは下から順番に開けて使用してください。



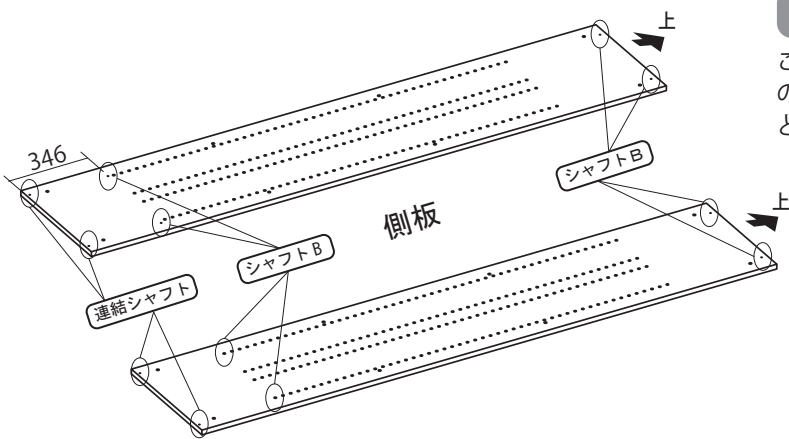
↑
使用順①



壁養生材等にテープで貼って下げて使うと便利です。

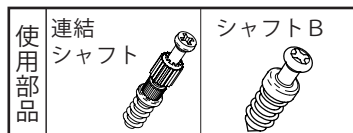
4-1 側板に部品を取り付ける

側板の加工穴（下図参照）に金物を取り付けてください。

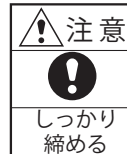


Point

このとき内部パーツの部品も付けておくとスムーズです



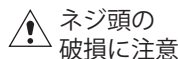
金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損傷や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。



連結シャフト

⊕ドライバーでしっかり締め付ける。

右回し

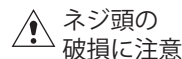


⚠ ネジ頭の破損に注意

シャフトB

⊕ドライバーでしっかり締め付ける。

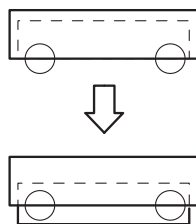
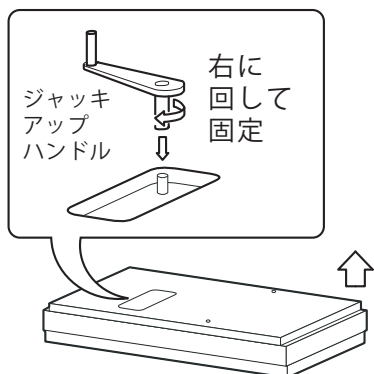
右回し



⚠ ネジ頭の破損に注意

4-2 台輪セットの固定

組み立て中に本体が動いてしまわないように固定状態にしておいてください。



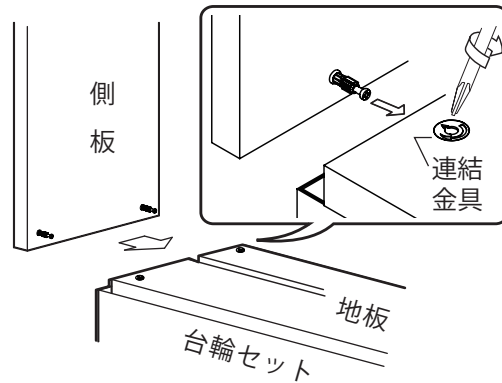
動かないように上げる

※上げすぎると天板を取り付けにくくなる場合がありますのでご注意ください。

4 組み立て

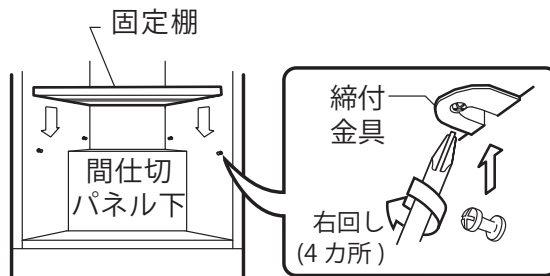
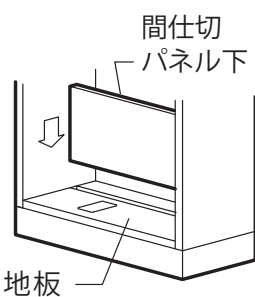
4-3 側板を取り付ける

側板に取り付けた連結シャフトを
地板の連結金具に差し込み、
⊕ドライバーで右に回して締め付けて固定します。

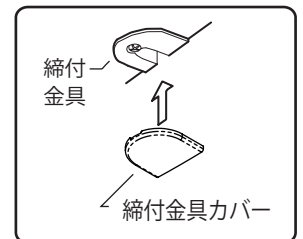


4-4 間仕切パネル下・固定棚を取り付ける

間仕切パネル下を地板の溝に差し込みます。
固定棚の下面の溝に間仕切パネルを差し込み、側板に取り付けたシャフトBにはめ込みます。
締付金具を⊕ドライバーで右に回して締め付け、固定します。
取り付け後、締付金具カバーを取り付けてください。

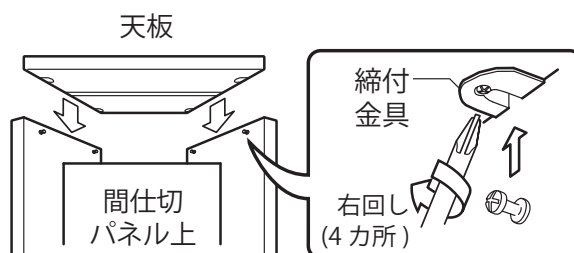
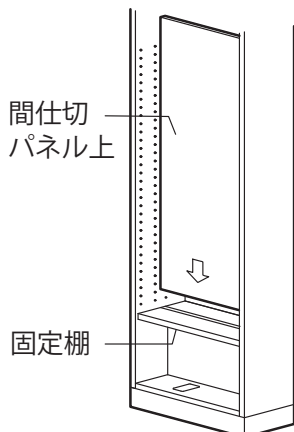


金具の締め付けが不十分な場合、
収納ユニット本体や収納物の損壊
や棚板の落下によるケガの恐れが
あり大変危険です。

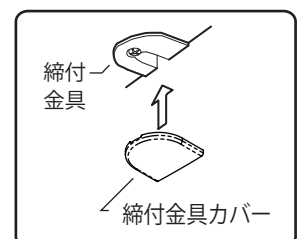
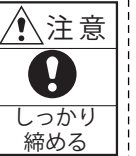


4-5 間仕切パネル上・天板を取り付ける

間仕切パネル上を固定棚の溝に合わせて、はめ込んでください。
側板の上部に取り付けたシャフトBに天板をはめ込み、
締付金具を⊕ドライバーで右に回して締め付け、固定します。
取り付け後、締付金具カバーを取り付けてください。



金具の締め付けが不十分な場合、
収納ユニット本体や収納物の損壊
や棚板の落下によるケガの恐れが
あり大変危険です。

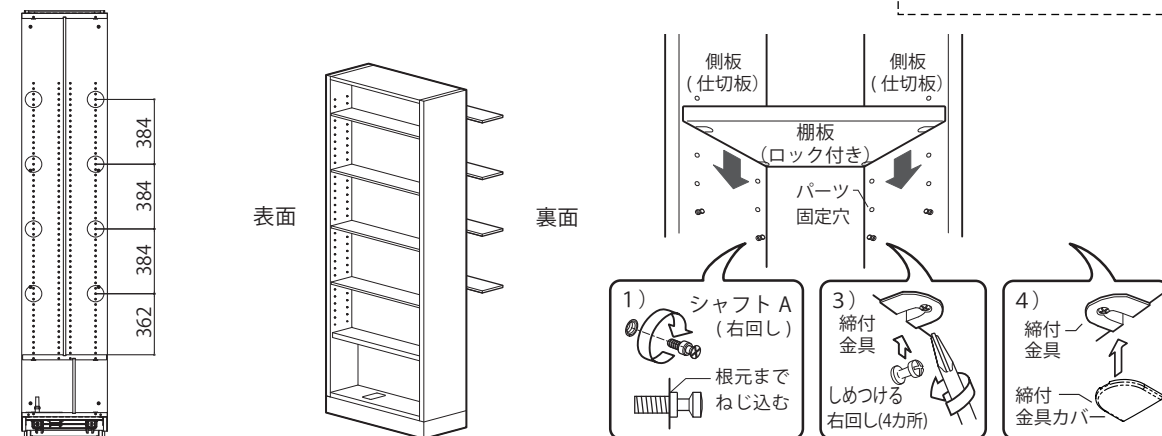
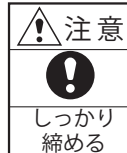


4-6 棚板（ロック付き）を取り付ける

- 1) お好みの高さのパーツ固定穴にシャフト A をドライバーで締め付けます。
- 2) シャフト A の上方から棚板を差し込みますすぐ下ろします。
- 3) 棚板裏面の締付金具にシャフト A がしっかり差し込まれたことを確認した後、締付金具をドライバーで締め付けて固定します。
- 4) 締付金具カバーを取り付けてください。

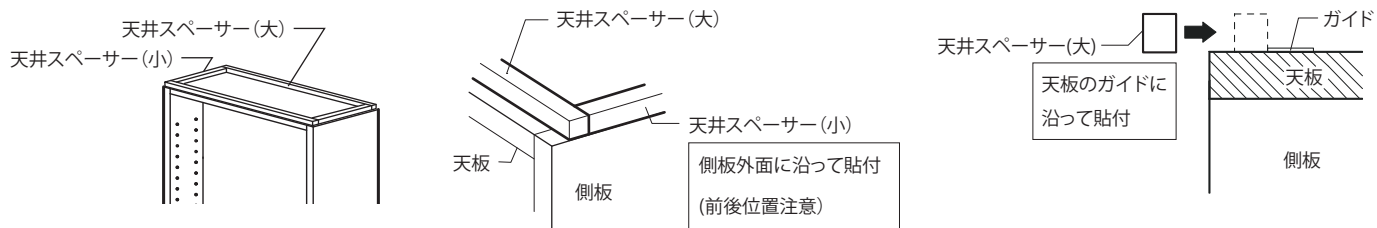


金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損傷や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。



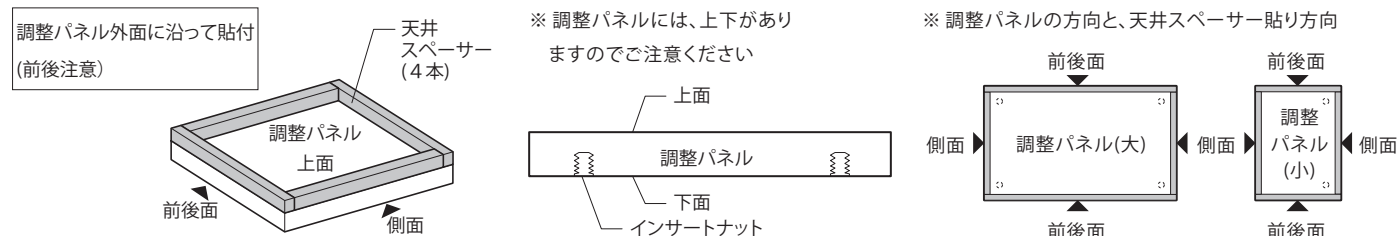
4-7 天井スペーサーを取り付ける

- 1) 本体を可動状態にして天井との隙間を確保してください。
- 2) (大) → (小) の順に天井スペーサーを貼り付けてください。
- 3) 設置位置で固定して問題なく天井につっぱることを確認してください。

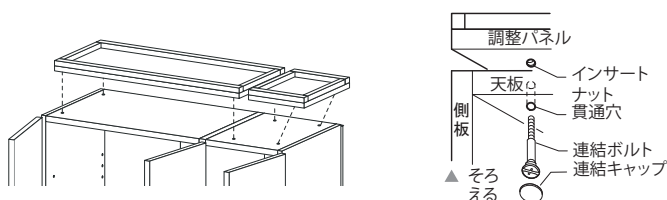


調整パネル付きの場合

調整パネル上面に天井スペーサーを貼り付けます。



本体天板に直接調整パネルを取り付けます。



！

天井スペーサーが取り付けられていない場合、天井に突っ張ることができませんので、衝撃や地震の振動で動いてしまう恐れがあります。

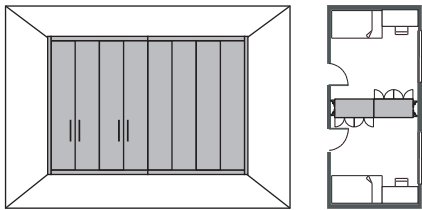
また、スキマがある場合、音漏れや明かり漏れの原因となります。天井スペーサー同士の間もスキマがあかないように貼り付けてください。

5 据え付け

はじめに 配置方法と配置用部品の確認

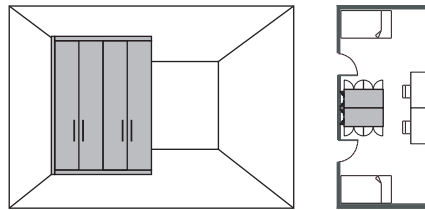
◆ 配置方法の種類

① 完全間仕切り



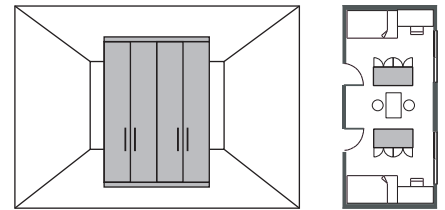
完全に間仕切りして2つの独立した個室をつくる。

② 半間仕切り



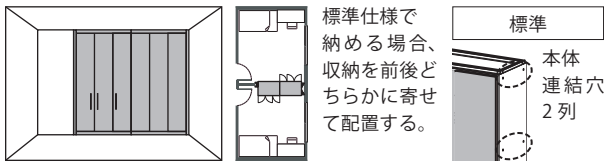
部分的に間仕切り。片側を壁に寄せ、片側をオープンにする。

③ 可動家具

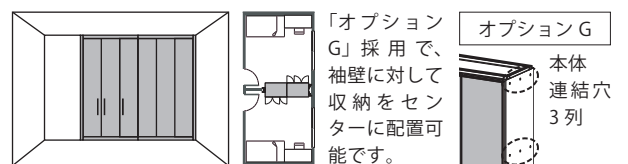


ゆるやかに間仕切り。収納ユニットの両側をオープンにする。

④ 完全間仕切り 袖壁納め

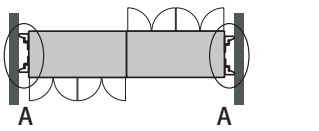


④ 完全間仕切り 袖壁納め (本体連結穴追加)

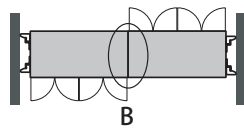


◆ 配置用部品の取り付け

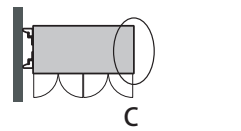
◎ A部:側面を壁にぴったり寄せる



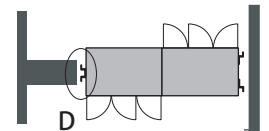
◎ B部:本体同士を連結する



◎ C部:側面オープン使い



◎ D部:袖壁・廻り縁に寄せる

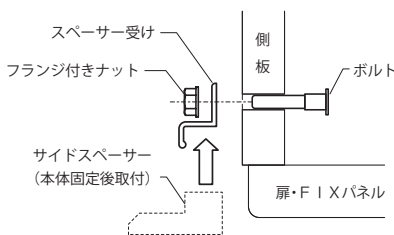


A部・D部がある納まりの場合

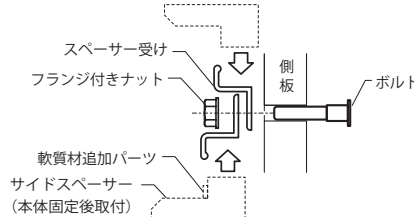
5-1 サイドスペーサー受けを取り付ける

壁面側に来る側板の貫通穴にサイドスペーサー受けを固定します。サイドスペーサー受けには、上下左右がありますので、ご注意ください。

A部がある納まりの場合



D部がある納まりの場合



使用部品

サイドスペーサー受け
取付金具セット



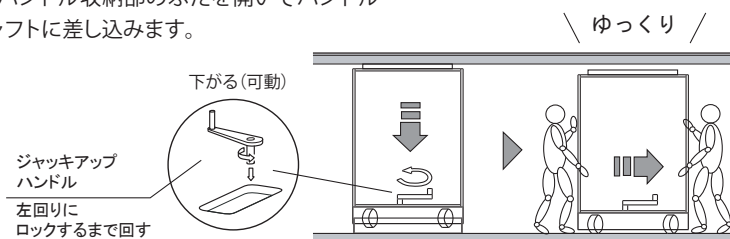
使用部品

サイドスペーサー (軟質材)
受け材 (左右あり)



5-2 配置場所に本体を移動する

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。



ハンドルを[左回りに回す]と、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。



事故防止のため
作業は2名以上で
行ってください

⚠ 注意

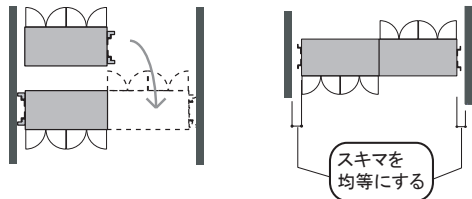
移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。
また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。



5-2 配置場所に本体を移動する (つづき)

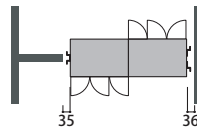
A部がある納まりの場合

収納ユニットを設置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが左右均等になるように並べます。(設計スキマ幅各36mm)



D部がある納まりの場合

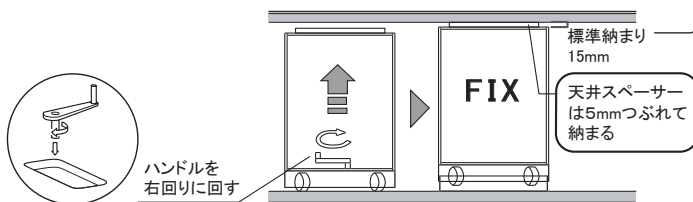
壁と収納ユニット側板とのスキマ幅が、袖壁側が35mm、壁面側が36mmになるように並べます。



※ サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、均等に位置出しやすくなります

5-3 本体を固定する

ジャッキアップハンドルを [右回りに回す] と、収納ユニットと天井とのスキマが狭くなり、キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。ハンドルが止まるまでまわしてください。



注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。その場合、ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがありますのでご注意ください。

A部・D部がある納まりの場合

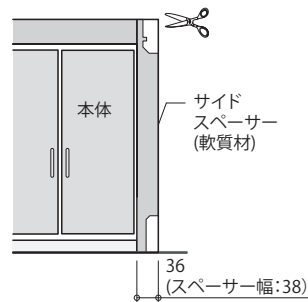
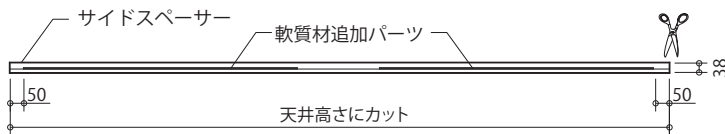
5-4 サイドスペーサーを取り付ける

壁面と側板の間に、サイドスペーサーを押し込み、寸法・形状を調整します。幅・廻縁の形状に合わせてカットすると、ぴったり納まります。

D部がある納まりの場合

※ 軟質材追加パーツをサイドスペーサーに貼り付けてからサイドスペーサー受けに押し込んで隙間をふさいでください。

【軟質材追加パーツ取付位置】



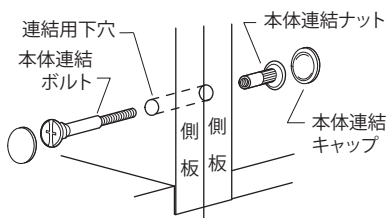
使用部品

サイドスペーサー (軟質材)
受け材 (左右あり)

B部がある納まりの場合

5-5 本体同士を連結する

収納ユニット同士を並べて、スキマが気になる場合は本体連結金具で収納ユニット同士を連結します。



使用部品 本体連結金具

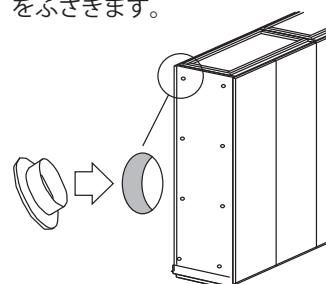
連結したまま収納ユニットを昇降させると、本体が破損する原因となります。必ず連結金具を外してください。

注意
動かす時外す

C部がある納まりの場合

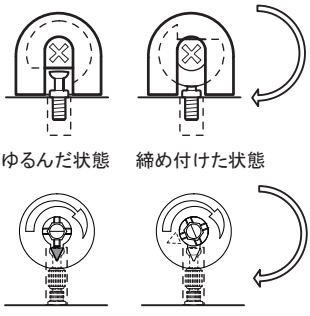
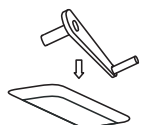
5-6 穴隠しキャップを取り付ける

本体側面がオープンするとき、穴隠しキャップで本体連結穴をふさぎます。



使用部品 穴隠しキャップ
φ10穴
片側8ヶ所 (両面)

6 施工後の確認

項目	詳細	チェック	項目	詳細	チェック
1	組み立て部品が余っていない	<input type="checkbox"/>	5	天井スペーサーが正しく取り付けられている (本体を固定した時、天井との間にスキマがあいていない)	<input type="checkbox"/>
2	台輪・固定棚・天板の締付金具の締め忘れがない 	<input type="checkbox"/>	6	サイドスペーサーが正しく取り付けられている	<input type="checkbox"/>
			7	製品に傷や欠け、塗装のはがれ等がない	<input type="checkbox"/>
3	本体各部にガタツキや隙間がなく、しっかり固定されている	<input type="checkbox"/>	8	お客様と打ち合わせた通りに「可動間仕切収納」が配置されている	<input type="checkbox"/>
4	ジャッキアップハンドルは所定の収納場所に戻されている 	<input type="checkbox"/>		正しい位置に配置されているかどうか、また、その配置方法に必要な配置用部品が正しく取り付けられているかをご確認ください。 特に、完全間仕切りで本体同士を連結する必要がある場合(例: 隙間から明かりが漏れるとき)は本体を連結し、連結したことを必ずお客様にお伝えください。	<input type="checkbox"/>